

# 重要文化財 旧東慶寺仏殿

## 保存修理事業



きゅうとうけいじぶつてん え ど じだい かんえい  
 旧東慶寺仏殿は江戸時代(寛永11(1634)年)  
 かまくら そうけん めいじ さんけいえん  
 に鎌倉で創建され、明治40(1907)年に三溪園  
 いちく げんざい き  
 へ移築されました。現在、これからもこの貴  
 ちよう ぶんかざい まも つづ い じ ほぞん  
 重な文化財を守り続けるために、維持保存の  
 しゅうり こうじ はんかいたいしゅうり たいしんほきよう  
 ための修理工事(半解体修理+耐震補強)を  
 おこな  
 行っています。

The Buddhist Sanctum of Former Tokeiji Temple was built in Kamakura in 1634 and moved to here, Sankeien Garden in 1907. We are now working on the construction of this important cultural properties to maintain and preserve it so that it can continue to be protected in the future.



だい き ぼ こう じ  
**大規模工事**  
 だい だん  
**第2弾!**



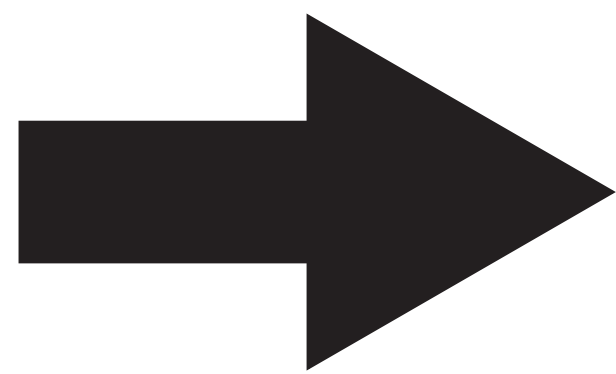
# いえやす まご とくがわただなが ごてん 家康の孫・徳川忠長の御殿をリサイクル?

きゅうとうけいじぶつてん だい き ぼ しゅうり み けんちくねんだい  
 — 旧東慶寺仏殿大規模修理から見えてきた建築年代 —

げんざい せつ  
**現在の説**

(文化庁建造物目録)

かんえい  
**寛永11年に  
 かまくら しんちく  
 鎌倉で新築**  
 (関口欣也説)



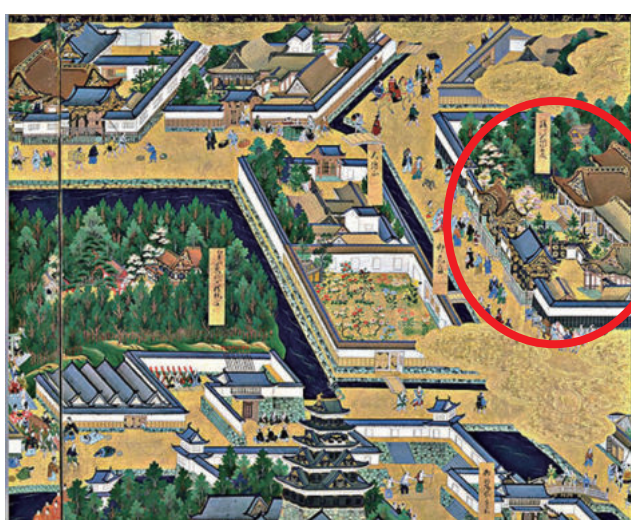
しんせつ  
**新説**

とくがわただなが ごてん ざいりよう  
**徳川忠長御殿の材料をリサイクルし、  
 しんざい おぎな かんえい かまくら しんちく  
 新材を補って、寛永11年に鎌倉で新築**

## 資料調査



とうけいじ そんざい おなふだ  
**東慶寺に存在する棟札:**  
 かんえい ねん せんひめ てん  
**寛永11年(1634)に千姫(天  
 じゆいん とくがわひてだ おすめ こん  
 樹院、徳川秀忠の娘)が建  
 りゅう ほうたいぞうしゅ じゅう  
 立し、法泰蔵主(のちの住  
 じ てんしゅうに せんひめ ようし  
 持・天秀尼。千姫の養子で  
 とよとみひでより おすめ  
 豊臣秀頼の娘にあたる)が  
 にゅうじ とうけいじ きしん  
 入寺している東慶寺に寄進  
 たてもの めいしよう ふめい  
 した<建物の名称は不明>**



▲江戸四屏風 左隻第1頁上右端に「駿河大納言殿(屋敷)」右が北 国立歴史博物館デジタルコレクションより

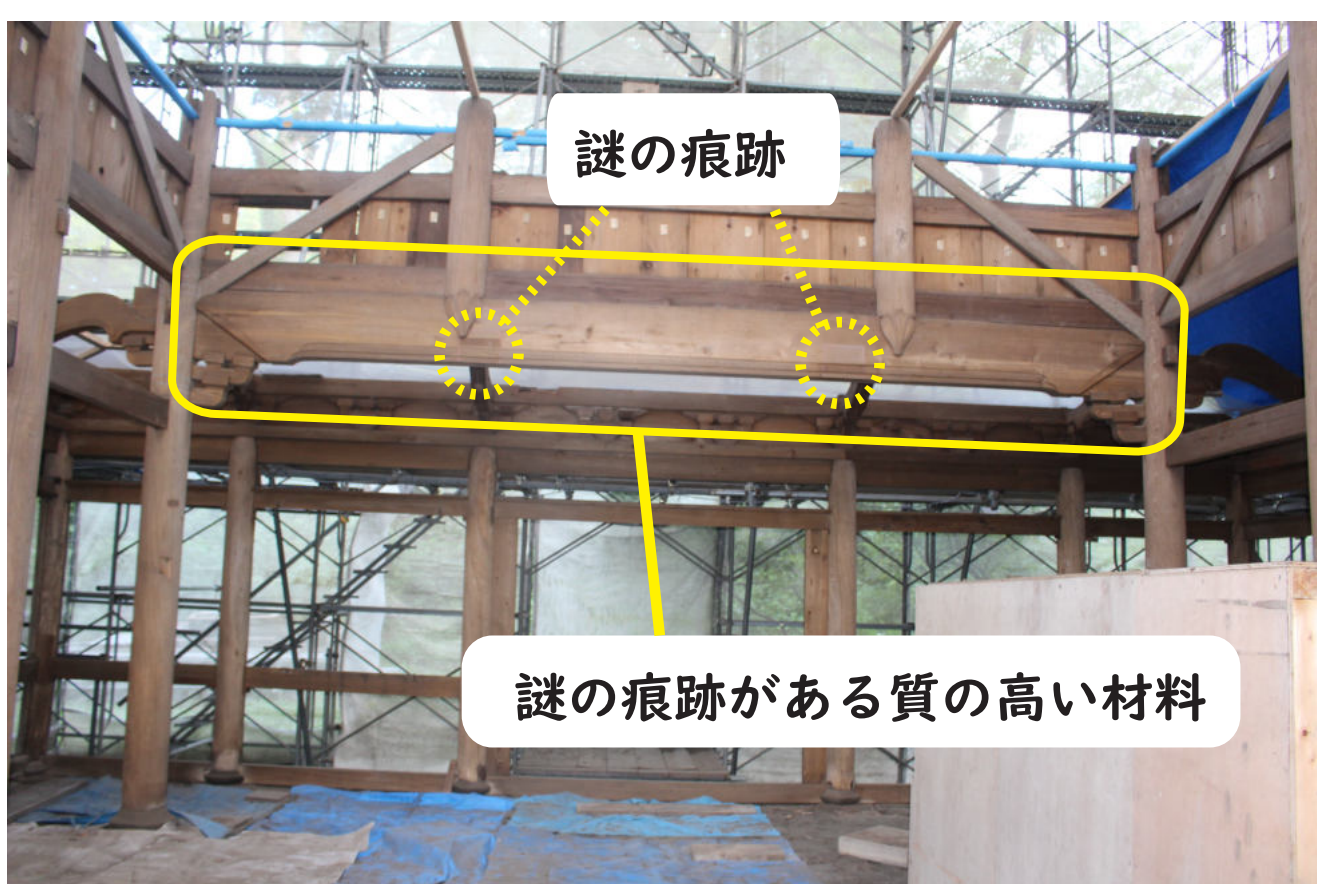
しんぺんさがみのくにふ ど きこう かまくららんしょうこう とうけいじ  
 『新編相模国風土記稿』と『鎌倉攬勝考』の東慶寺  
 ぶぶん そのうえただいま きやくてんほうじょういんりょうけんもん など  
 部分に「...其上只今の客殿方丈、蔭涼軒門等は、  
 するが だいなごん さまの ごてん おんひきとりすめられそうろうに いま これあり  
 駿河大納言様之御殿、御引取被進候て、今に有之  
 そうろう ちゅうき ぶつてん こう  
 候、」と注記するとともに仏殿の項において「...  
 するが あそう だいなごん いみ ただながきょうきゅうやかた うつ たま  
 駿河亞相(大納言の意味)忠長卿の旧館を移し賜ひ、  
 かんえい おんこんりゅう とき おなふだ ぞう  
**寛永十一年十月御建立あり、その時の棟札を蔵せ  
 り」と記し、方丈の項において「是も同時、忠長  
 する ほうじょう こう これ どうじ ただなが  
 卿の旧館を以て造らせ給ひしなり」と記す。**

## 痕跡調査



釘の跡を調べる「痕跡調査」。白が明治の移築時、赤が創建当初の痕跡。

くぎあと ちょうさ すべ ぶざい かい くぎ う こんせき かくにん  
**釘跡の調査:「全ての部材」に「2回」釘を打った痕跡が確認された**  
 ⇒ 1回目: 創建時 / 2回目: 明治移築時の釘の跡ということ。すなわちこの  
 たてもの え ど じだい しりよう かんえい そうけん めいじ じだい いちく  
**建物は江戸時代(資料からおそらく寛永11年)に創建され、明治時代に移築**  
**された2回のみ、大掛かりな工事が行われたと推定される。**



謎の痕跡

謎の痕跡がある質の高い材料

ざいりよう ちょうさ しつ たか ざいりよう ふつう しつ  
**材料の調査: 質の高い材料と、普通の質の  
 ざいりよう  
 材料がある。**  
 ⇒ 質の高い材料には、現在の建物を構成す  
 る要素としては無関係な痕跡が散見される  
 ようそ むかんけい こんせき さんけん  
**: 質の高い材料は、どこか別の建物で使わ  
 れていた材料を再利用したと推定される。**



材料の年代を調べる「放射性炭素年代測定」を実施し、推定の裏付けを得ました。